

平和希求ライブ in エルム

シャンソンを平和の架け橋に 「一番歌いたいテーマは愛」

“平和ライブ”が不要になる日を目指して――。シャンソンを通して平和な社会の実現を訴える「平和希求ライブ」が名古屋市千種区吹上の「カフェ・コンセール・エルム」で開催されている。企画したのは日仏シャンソン協会日本代表で、作曲家、ピアニストでもある加藤修滋さん（72）。加藤さんの母でエルム創設者の故ハツさんの思いを受け継ぎ、名古屋から平和の歌声を世界に発信し続けている。

加藤さんによると、ハツさんが亡くなったのは2014年で「歌手には、平和を願う歌を歌う義務がある。なぜなら平和でなければ文化は育たないから。」との言葉を残した。このハツさんの心に応えて、2年後の16年1月から平和を希求するコンサートを開始。新型コロナウイルスの影響もあったが、昨年1月22日に核兵器禁止条約が発効したのを機に「平和希求ライブ」と銘打って改めて出発することにして、

毎月22日にエルムで開催している。

加藤さんはエルムを経営する中で、故シャルル・アズナブールらフランスの著名なシャンソン歌手と交流を重ね、2005年愛知万博（愛・地球博）のイメージソング「ブラボー！ ムッシュ・ル・モンド」を歌い、昨年11月にパリで90歳でなくなった歌手、ジャクリーヌ・ダノさんも加藤さんの友人代表の一人。ダノさんは万博の愛知県誘致にも多大な貢献をしていて、加藤さんは追悼公演も開催した。万博の開幕前の2002年から続ける平和の歌コンサートはすでに230回以上に及ぶ。

2月22日の「平和希求ライブ」。加藤さんのピアノ演奏で歌手、芹沢祥子さんは戦争のない時代を子に託した「愛し児へ」やロシアの歌「鶴」、「イスラエルの子守歌」など平和、反戦の歌を情感たっぷりに歌い上げた。芹沢さんは、2016年に始まった平和希求コンサートの時



加藤修滋さん



芹沢祥子さん